

# 永福の本欄

2016年  
8月号

【今月の特集】

## 世界の美味しい料理



# 特集コーナー

## 世界の美味しい料理



### 『スペイン美・食の旅 バスク&ナバーラ』

菅原千代志／著 山口純子／著 平凡社

請求記号：236ス

ISBN:978-4-582-63479-2



本書は、ミシュランの星の数が極めて多く、美食の街として知られるスペインのバスク地方の食と文化を紹介。おしゃれで美味しそうな名物ピンチョスの写真が多数紹介され、見ただけで食欲をかきたてられます！

### 『どうぞ、召しあがれ！ フランスの食祭りの旅』

ピーター・メール／著 池央耿／訳

河出書房新社

請求記号：934メ

ISBN:4-309-20362-0



出張先のフランス・パリでの食事に衝撃を受けた著者が、フランス各地をまわり、豊かな食文化を伝えます。何をどのようにして食べるのかという、フランス人の料理へのこだわりが見える一冊です。

### 『みんなが好きなインド料理＋南インド料理』

少なめオイルとスパイスで作る』

マバニマサコ／著 柴田書店

請求記号：596. 22マ

ISBN:978-4-388-06189-1



イギリス系インド人の旦那をもち、その母から教わる伝統的なインド料理を大切にしながらも新たな料理を考案する著者。少なめのオイルと限られたスパイスを使ったレシピは、日本にいながらも気軽にインド料理を作ることができます。

### 『パンケーキ・ママの週末はパンケーキの日』

大好きな人と食べたい！』

阿多笑子／著 日東書院本社

請求記号：596. 6ア

ISBN:978-4-528-01951-5



この本は、パンケーキの基本的な作り方から、作りすぎてしまった時のアレンジレシピ、様々なソースの作り方などを、全ページカラー写真で紹介しています。あなたも、この一冊で美味しいパンケーキを作ってみませんか？

# 新着図書コーナー

## 『本日も餃子日和。』

橋田いずみ／著 主婦と生活社  
請求記号:596キ  
ISBN:978-4-391-14834-3



この本では、基本の肉たねをベースに、様々な野菜を使った餃子を紹介しています。皮の作り方や包み方の説明もあるので、作るのも簡単！焼くもよし、揚げるともよし、スープに入れるのもよし。自分だけのオリジナル餃子を作ってみませんか？

## 『食べて、育てるしあわせ野菜レシピ』

大橋明子／著 集英社インターナショナル  
請求記号:626オ  
ISBN:978-4-7976-7327-2



何気なく捨ててしまうダイコンの葉やキャベツの芯。冷蔵庫の中で忘れられ、しおれてしまったコマツ菜。そんな野菜を再生栽培して、育てるわくわくと、もう一度食べる楽しみを味わってみませんか。薬剤師でもある著者の、体を整えるレシピ付きです。

## 『東京レコード散歩 昭和歌謡の風景をたずねて』

鈴木啓之／著 東京ニュース通信社  
請求記号:767. 8ス  
ISBN:978-4-19-864162-7



1960年代への憧れを募らせながら、歌謡曲の舞台となった街を巡る散歩コラム。高円寺や荻窪、吉祥寺などおなじみの街も歩いています。オールカラーで掲載された東京各地のご当地レコードを見るのも楽しい。

## 『炎と苗木 田中慎弥の掌劇場』

田中慎弥／著 毎日新聞出版  
請求記号:タ445  
ISBN:978-4-620-10820-9



川端康成「掌の小説」から名付けたという“掌劇場”(「毎日新聞」西部本社版連載)の第二弾。原稿用紙四枚、一篇約1600文字の世界から垣間見る、女、男、作家、親子、神…あらゆるく私>の短くも濃い44篇がたっぷり味わえます。

## 『ほんわかクラゲの楽しみ方 ゆらゆら、ふらふわ。眺めて、癒される。』

平山ヒロフミ／著 アクアパーク品川／監修  
誠文堂新光社  
請求記号:483ヒ  
ISBN:978-4-416-51698-0



涼し気な写真と共にクラゲの種類や生態を楽しく、分かりやすく紹介します。クラゲと一緒に出かける「クラゲさんぽ」という珍しい企画のページもあり、これまで気づかなかった魅力を教えてくれる一冊です。

## 『武士はなぜ歌を詠むか 鎌倉将軍から戦国大名まで』

小川剛生／著 KADOKAWA  
請求記号:214オ  
ISBN:978-4-04-703589-8



時は戦乱の続く中世。武家政権の発祥地である関東の武士達は、和歌を必修教養とし、その文学活動を他国との交渉や家臣との結末のために活用しました。文武両道な彼らと和歌の関わりを探ります。

## えいふく イベントレポート

永福図書館では5月より杉並区立郷土博物館の企画展の内容に合わせて関連図書の展示を行っております。

杉並区立郷土博物館は、1989年(平成元年)都立和田堀公園の中に開館しました。およそ3万年前から現在までの杉並の歴史、人々の生活や文化について資料を収集、研究しています。来館した方が参加できる年中行事(七夕、十五夜、もちつき、節分など)も行っています。



郷土博物館は永福図書館より徒歩10分ほどのところにあります。入館料100円(中学生以下は無料)。

12月には永福図書館にて郷土博物館学芸員をお招きし、講演会を行う予定です。詳細は決まり次第お知らせいたします。

## 今月のスポット展示

8/5(金)~8/31(水)

### 「図書の分類

～請求記号が5からはじまる本～」



図書館は本を分類するために、本の背に請求記号をつけています。

杉並区の分類では、新書は請求記号のついていないものもあります。

今月は、本来であれば請求記号が「5」から始まる新書や文庫を集めました。環境問題や機械・乗り物、料理や手芸に関する分野の本です。



近年に出版された新書や文庫を部門で集め展示しています。

永福図書館からの

## お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時  
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

8月の休館日

4日(木)、18日(木)

読書チャレンジ2016

大人も参加  
できます♪

### 「なつやすみスタンプラリー」

本を借りたり、イベントに参加したり、おすすめの本を書いたりして、1日1つスタンプをもらおう！ スタンプ5つで缶バッジをプレゼント♪

【期間】7月20日(水)～8月31日(水)まで

幼児～小学校低学年向け

※申し込み不要です。

### ちょっぴりこわいおはなし会

おばけのおはなしに、歌、手あそび、プチ工作！  
ボランティアとスタッフによるスペシャルなおはなし会です。

【日時】8月3日(水) 11:00～12:00 @地下講座室

### 館内での飲食は、基本的に禁止です。

ペットボトルや水筒のような、  
密閉できる容器での水分補給は  
していただくことができます。  
(机の上などへ置く際は、  
フタを閉めてください。)



問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2016年8月号(通巻230号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。